

「閑上復興だより」は、「もう一度心をひとつに」を合言葉に、被災した住民が集まり閑上復興の道筋を伝える情報誌を発行しています。平成23年10月に創刊し、今年7月に28号を迎えました。発行費用を寄付や広告収入で賄いながら、復興への想いをこめて作成しています。

紙面はオールカラーでとても鮮やか！閑上の四季の移ろいや、復興支援活動の様子、子ども達が活躍する行事などを多くの写真とともに掲載。閑上の小さな集会やイベントも積極的に発信することで、閑上らしい味わいがあると喜ばれており、紙面の中に知り合いの顔を探す楽しみもあります。



28号を迎えた「閑上復興だより」

「閑上復興だより」への想い

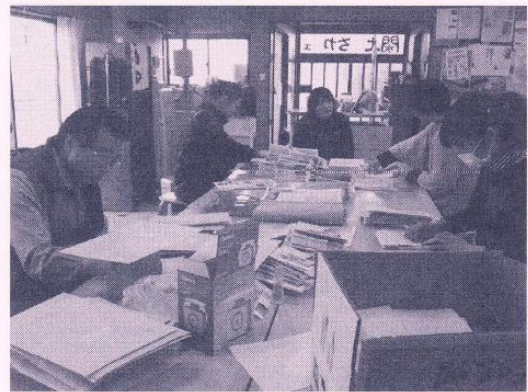
編集長の格井直光さんは、大震災で両親を亡くし自宅も流され、避難所生活を余儀なくされました。そこで拠り所を失くした人々の生き惑う姿を目の当たりにした体験が、「閑上復興だより」を発行するという市民活動を始める動機に繋がっています。

編集部スタッフも、それぞれに閑上で被災しました。新聞づくりの経験はありませんでしたが、被災しているからこそその視点を強みにして復興の軌跡を県内外へ発信してきました。今では、本業と市民活動を両立させながら、取材から編集、発送、ポスティングまでこなしています。

また、重要な復興情報を発信するために、閑上復興まちづくり推進協議会をはじめ、説明会や審議会にも積極的に参加し、日々情報収集に奔走しています。

そんなスタッフにとって活動継続の原動力となるものがあります。それは紙面を通して、思い出

だけになった故郷に触れることができると、閑上復興だよりを心待ちにしている人がいること。また、資金・物資の両面から支援してくれる仲間や全国各地の団体の存在。そして大人のみならず小学生が募金活動をして支えてくれる純粋な「想い」です。



スタッフみんなで発送作業

忘れない 閑上を語り継ぐ

閑上の復興を願いつづけて3年半が過ぎ、やっとこの夏に名取市から復興計画を盛り込んだ災害復旧事業方針が示されましたが、時の経過に対して街の復興はまだまだこれからです。

格井さんは、「これまでの体験で得た教訓を語り継ぎ、活かすことの大切さを強く感じています。取材で、閑上で育った子ども達から『住んでいたこの場所しか知らないし、この閑上が大切な故郷です』という言葉聞いて胸を打たれました。震災前の風景に戻すことはできなくとも、閑上復興だよりで伝え続ける活動が、復興の一端を担っていると確信しています」と語ります。

また、もっと多くの市民に「閑上復興だより」を知ってもらうためにも、新たな設置場所や寄付を募集しています。郵送ご希望の方は問い合わせ先までご連絡ください。

閑上復興だより

〒981-1213 名取市閑上1丁目1-13
閑上まちカフェ内
TEL : 090-3583-1359 (格井)
FAX : 022-395-5845
E-mail : yuriage.fd@gmail.com
URL : <http://yuriage.org/>